



五十嵐 健一郎
議員

海の再生と利活用の 取り組みについて

海の再生と利活用の 取り組みについて

漁業」の推進と「食」の連携
について

質 問
・海岸侵食対策の促進及び海
岸養浜の促進について
・漁港施設整備の推進及び
「つくり・育て・管理する

・長野県との連携強化策及び
スポーツ・レジャー交流促
進について
・海洋産業開発関連の人材育
成及び専門研究機関等の誘
致と連携について
・糸魚川海岸と中心市街地活



古畑 浩一
議員

市長マニフェストの実現性と 文化施設・体育施設の 整備拡充について

市長マニフェストの実現性と 文化施設・体育施設の 整備拡充について

質 問

市長三選出馬に際して示さ
れたマニフェストには明記さ
れなかった市民文化の育成に

ついて市長の考えを伺う。

また、これまで議論されて
きた市民会館あるいは市内体
育館、野球場等の老朽化・機
能低下への対応や将来計画は
どうか。

市は、多種多様な市民要望
に対して、その実行が不可能
な理由に財源不足を挙げるこ

性化との融合策について

市長答弁

海岸侵食対策として現在、
青海海岸、大和川漁港海岸、中
宿海岸及び百川海岸の離岸堤
等の整備が実施されている。ま
た、海岸養浜については大和川
漁港海岸で実施する予定であ
る。

漁港施設整備については、能
生漁港で水産加工場や冷凍施
設の整備が行われており、放流
事業についてはヒラメとアワビ
の放流が行われている。また、
食の連携では、アンコウや南蛮
エビなどの地元が誇る鮮魚を、

とが多いが、支出を抑え、税
収を上げるための行政改革、
経済対策はどのように進めて
いくのか。市内の豊富な自然
を活かした再生エネルギー事
業をさらに推進していく必要
はないか。

市長答弁

市民の文化活動への参加や
芸術・文化の鑑賞機会の拡充
等は大変重要なことと考えて
いる。その文化活動の拠点と
なっている市民会館について
は、リニューアルの方向で整備
を進めていきたいと考えてい
る。また、体育施設についても

イベントなどを通してPRし
ているところである。

長野県との連携等について

は、長野市を始め多くの市町
村と活発な観光交流・都市交
流を行ってきたところである。
また、昭和48年から小学校の
臨海学校を受入れ、海水浴や
カヌーなどのマリンスポーツを
通じた交流も図ってきた。

海洋産業開発等については、
県立海洋高校が所在する自治
体として、海洋産業に関心を
持てる人材の育成及び専門機
関との連携に積極的な役割を
果たしていきたい。

糸魚川海岸と市街地の融合

老朽化等で修繕が必要な場合
は順次整備を行っており、今後
も既存施設を適切に管理し、
その長寿命化を図っていきた
い。

支出を抑えることについて
は、第2次行政改革実施計画
や総合計画実施計画に基づ
き、さらなる行財政改革と計
画行政を推進していく必要が
あると考えている。

税収を上げることについて
は、新幹線開業前の設備投資
の支援等、関係機関と連携し
ながら既存企業の振興を図る
など、地域経済の活性化に努
めていきたい。

策については、北陸新幹線糸魚
川駅が「日本海に一番近い駅」
というメリットを活かし、交流
人口の拡大を目指した観光振
興、商業振興に努めていき
たい。



日本海が望める位置にある新幹線糸魚川駅



太陽光発電設備
(姫川コミュニティスポーツセンター屋上)

再生エネルギー事業につ
いては、ペレットストーブや太陽
光を利用した設備設置への補
助制度のほか、市内企業にお
いて太陽光発電による売電や、
小水力発電・地熱発電の研究
等の動きがあり、市としても産
官学連携を図る中で事業者へ
の支援などを行ってきたこと
である。